

課題を見つけて伝え合おう（5年）

日本語について調べよう

●指導目標

- ◎ 読み取ったことを出発点にして、日本語について調べ、グループで工夫しながら発表する。
- 事例の意味を考えながら日本語の特徴について読み取らせるとともに、外国人の言語に関する感覚と比較して日本語に対して関心を持つ。
- 日本語についてテーマを決め調べたことを、工夫して計画的に発表する。同時に、日本語に対しての関心や興味をさらに深める。

●教材について

本単元は「課題を見つけて伝え合おう」は読むことの学習としての説明文『日本語を考える』、話す・聞くの学習としての教材文『日本語について調べよう』で構成されている。

第1教材の読むことの学習『日本語を考える』では、日常あまり気にしないで使っている日本語の特徴を知り、それが日本人のものの見方・感じ方と深いつながりがあることを読み取りながら理解を深める。

本教材『日本語について調べよう』では、日ごろ使っている日本語についてテーマを決めて、自分たちで調べたことを工夫して計画的に発表する学習に取り組む。説明文での学習が動機づけとなって日本語そのものを題材として調べ、グループでのプレゼンテーション発表を行うことで、必要な資料の収集、整理、効果的な発表の仕方や、その聞き方を学ぶ総合的・発展的な話すこと・聞くことの言語教材である。本実践では、以下のことに留意して指導にあたることとする。

（１）テーマの設定：学級テーマを「方言」に

本教材はテーマの設定が学習のポイントになる。「日本語について調べよう」といっても、題材は多種多様で取りかかりにくい。そこで、学級の共通テーマ（学級テーマ）を決めたうえで、グループごとに調べる具体的な課題（グループテーマ）を話し合わせる。本実践では、学級テーマを「方言」とする。方言は地方によって異なり、豊かな表現や楽しい表現がある。グループテーマも、自分たちが使っている言葉、各地方の方言、共通語など、子どもたちが考えやすい。また、図書資料やインターネットのサイトも豊富にあり、身近なお年寄りへのインタビューもできるなど、情報収集に取り組むうえでも自力解決が期待できる。さらに、地図、表での比較、音声の特徴がでるような音読や寸劇など、発表の工夫も期待できる。

（２）コンピューターの活用（プレゼンテーションソフト）

調べた内容を効果的に発表するために、コンピューターのプレゼンテーションソフトを活用する。資料を作成する過程では、収集した資料を取捨選択しながら整理して取り入れ、文字や画像（写真、絵）の表示を自由に設定でき、統一感があり見映えのする資料が簡単にできる。発表の際には操作が比較的容易にでき、聞き手に分かりやすく伝えることに効果的である。

（３）話すこと・聞くこと

発表は、教科書を資料にして指導し、「①初めの言葉、②テーマを選んだ理由、③調べた方法、④調べて分かったこと、⑤まとめ（感想）、⑥みんなから（質問・感想）」という基本的な組立てで発表する話し方を学ばせたい。そこで、組立て、発表内容、提示する資料、時間、担当者で構成した「発表メモカード」を各グループに与えて、発表の準備をさせる。聞き手としての学習の場としては、発表会の各グループ発表後に「みんなから」を設け、質問や感想を伝えさせたい。本時の発表会では、話すめあて・聞くめあてを確認してから発表会を行い、終了後、学習を振り返ることで、よかった点や改善点を伝え合い、話すこと・聞くことの学びを成立させたい。

●学習指導計画（全12時間）

展開	時・過程	学 習 活 動	留意点・評価規準
第一次 日本語を考える	第1時 課題をつかむ 学習の見通しをもつ	○ 「単元のとびら」をもとに、単元全体の学習内容を知り、学習のねらいを知る。 読み取ったことをもとに、日本語について調べたことを発表し合おう。 ○ 『日本語を考える』を読む。 ○ 普段興味がある日本語の表現や、読んだ感想・考えたことを話し合う。 ○ 日常生活で、日本語の面白い使い方や変な使い方を記録していくことを確認する。(→日本語ふしぎ発見カード) ○ 新出漢字を確認し、語句の意味を調べる。 ○ 第2～4時の学習について知る。 ・例を読み、日本語の特徴について考えよう。	関：感想や考えを発表している。(発言、観察) ○ 話し合いながら、日本語の特徴を調べる意欲を高める。 ○ 第6時に記録を発表し合うことを予告する。 書：新出漢字や語句の意味を調べている。(ノート、観察)
	第2～4時 読解 理解を深める	○ 例①～③を読み、留学生の質問と筆者の考えを読み取る。 ・第2時 例①「すみません」(言葉と気持ち) ・第3時 例②「いただきます」(感謝の対象) ・第4時 例③「ある」と「いる」(原則と例外) (1)留学生の質問と筆者の考えを読み取り、表に書く。 (2)発表し合って確かめる。 (3)読み取ったことについて、自分の考えを書く。 (4)自分の考えを発表し合う。	○ 留学生の会話文や、地の文の文末表現に着目させる。 読：留学生の質問と筆者の考えを読み取っている。(表、発言) 書：例に対する自分の考えを書いている。
	第5時 理解を深める 要約力を高める	○ 結論の段落を読み、筆者の考えを確認する。 どういう場面でどんな言葉を使うのか、くわしい理由づけを考えてみると、これまで気づいていなかった日本語の特ちょうや、それを生み出し、受けついできた日本人のものの見方・感じ方がはっきりしてくる。 ○ 文章構成を確認する。〔はじめ、例①②③、終わり〕 ○ 例①から③の筆者の考えと結論を読み合わせて、要約文をノートに書く。 ○ 書いた要約文を発表し合い、まとめる。	読：筆者の日本語に対する考えを読み取っている。(サイドライン、発言) ○ 書けない児童には書き出しや要約文の構成を助言する。 書：適切な要約文を書いている。(ノート)
	第6時 考えを深める 交流	○ 第1時に配布した「日本語ふしぎ発見カード」(ワークシート P.122 参照)を活用し、日常生活で言葉についておもしろいと思ったことや変な使い方と発表したことを発表し合う。 ○ 日本語の特徴や筆者の意見に対して、自分の意見を明らかにしてノートに書く。 ○ 自分の考えを発表し合い、話し合う。	話聞：自分の経験を話したり友達の気づきのよさを伝えたりしている。(発言・態度) 書：自分の考えを整理して書いている。(ノート)

第二次 日本語について調べよう	第7時 課題をつかむ 題材選定 学習の見通しをもつ	○ 教材文を読み、学習のねらいを知り、見通しをもつ。 日本語について調べて、発表会をしよう。 (1)テーマを決める。〔学級テーマ、グループテーマ〕 (2)資料を集め、発表内容を話し合う。 (3)発表方法を考え、準備をする。 (4)発表会。 (5)学習を振り返る。 ○ 学級テーマを「方言」とすることを知り、グループごとに調べるグループテーマを話し合う。 ○ グループテーマを発表し合い、情報交換する。 ○ 次時までにはできる分、資料収集しておくことを知る。	○ 興味・関心をもって調べたり発表したりできるように意欲を高める。 ○ 必要に応じて、グループテーマを例示する。 関：興味・関心を示し、テーマについて意見を発表している。 (観察、発言)
	第8・9時 情報収集 読み取り 意見交換	○ グループテーマにそって資料を集める。 ・学校図書館、・インターネット、・地域図書館 等 ○ 日本語の特徴という観点で資料を読み取り、自分の考えをもつ。 ○ 資料を持ち寄り、グループで話し合う。 ・一人ずつ資料を例示しながら発表 → 質疑応答 ○ 話し合ったことを、発表内容として整理する。 ・日本語の特徴としてわかりやすいもの ・比較するとおもしろいもの ・資料からわかること	○ 資料収集の支援や読み取りの助言をする。 関：資料収集や読み取りをしている。(観察・資料への書き込み) 話関：資料を提示して話したり、友達の発表に対して考えを伝えたりしている。(観察、発言)
	第10・11時 構想 表現の工夫	○ P60～63を読み、活動の見通しをもつ。 ○ 「発表の仕方の例」を参考に発表方法を話し合う。 ・「具体例や資料の示し方」としてコンピューターのプレゼンテーションソフトを活用することを知る ・「説明の形式」として音声の特徴が出るように音読や寸劇を組み合わせると効果的であることを知る ○ 「発表の準備」を参考にして、発表の流れを考える。 ○ プレゼンテーションソフトを活用して、発表資料を作成する。 ○ 「発表会の進行メモ」を参考にして発表メモを作る。 ○ 役割を分担し、発表の練習をする。	○ 教師が作ったプレゼンテーション例を提示し、PC活用の意欲を高める。 ○ PC操作を支援。 話関：発表内容に合った発表方法や必要な資料について話し合っている。(観察) 関：協力して準備・練習している。(観察)
	第12時 実践 振り返り (本時)	○ 本時のめあてを確認する。 ・話し方のめあて ・聞き方のめあて ○ 発表会を行う。 ○ 学習を振り返る。 ・振り返りカードに自己評価や感想を書く。 ・感想を発表し合い、成果や課題を確かめ合う。	話関：調べたことを工夫して発表している。(発表) 話関：発表を聞き、感想や意見を伝えている。(発言) 関：学習を振り返り、よかった点や反省点を書いたり発表したりしている。(振り返りカード、発言)

●本時の展開（本時12／12）

目標

- 日本語（方言）について調べたことを，意図がわかるように資料や例示を工夫して発表することができる。
- 発表を聞き，感想や意見を伝えることができる。

●展開例

学 習 活 動		指導上の留意点	評価・支援
1 本時の学習課題を確認する。		○ 教師が作った画面をスクリーンに投影する。	
日本語（方言）について調べたことを発表しよう。			
2 本時のめあてを確認する。		○ 教師が作った画面を投影する。	
話し方のめあて	○ 声の大きさ，話す速さを気をつけよう。 ○ 聞き手を意識し，反応を見ながら話そう。 ○ 事実と意見を分けて話そう。		
聞き方のめあて	○ 分かったことや発表の仕方への感想や意見を考えながら聞こう。		
3 発表会をする。			
(1) あいさつ言葉の方言 (2) 津軽弁 (3) 津軽弁と南部弁 (4) 共通語とは？ (5) 沖縄の方言 (6) いろんな言葉の方言地図		○ 必要に応じてP C操作を支援する。 ○ 各発表の後に，発表者の進行で「みんなから」を設け，「感想」「質問」「意見」を聞き手側の班に発表させる。	話： 調べたことを工夫して発表している。（発表，自己評価） 聞： 発表を聞き，感想や意見を伝えている。（発言・態度） ◆ 巡視・声がけ。
4 発表会を振り返り，よかった点や反省点を話し合う。			
(1) 振り返りカードに書く。 (2) 発表し合う。		○ 発表内容（方言）や話し方・聞き方について振り返らせる。 ○ 話し方・聞き方がのびのびと認め合ったり改善点に気付かせたりさせる。 ○ 黒板を「話し方」「聞き方」の2つに分け，出されたよかった点や改善点を板書して整理していく。 ○ 話し合いながら，方言のよさや温かさ，方言がその地域の人々の暮らしや感情と深く結びついていること，共通語の必要性などにも目を向けさせたい。	聞： 自分や友達の学習活動のよさや改善点を伝え，日本語に対する興味・関心を深めている。（発言，自己評価） ◆ 教師も感想を述べ，話し方や聞き方のよかった点や改善点に気づかせる。
5 単元の学習をまとめる		○ 日常の日本語の使い方への意識や，今回学んだ発表の仕方の工夫を今後も生かす意欲を高める。	

【日本語について調べよう】 発表メモカード

班 はん	グループ テーマ					
発表	発表内容			発表料	担当	時間
初めの言葉						
テーマを選んだ理由						
調べた方法						
調べた結果、わかったこと (資料の説明)						
まとめ感想						
みんなから						
終わりの言葉						

☆教科書六一・六二ページ「宮下さんのグループの発表」を参考にして話し方を考えよう！

【日本語について調べる】 振り返りカード

五年組番

1. 血圧値

番号	振 り 返 り	◎	○	△	×
一	グループでテーマを決めるときに、すすんで発言しましたか。				
二	発表内容を話し合うための資料をすすんで集めましたか。				
三	発表内容をグループで話し合ったときに、すすんで考えを述べましたか。				
四	発表資料をくふうして作成しましたか。				
五	発表するときに、声の大きさ、話す速さに気をつけて話しましたか。				
六	聞き手を意識し、反応を見ながら話しましたか。				
七	事実と意見を分けて話しましたか。				
八	発表を聞き、感想や意見を伝えることができましたか。				

1-1 学習を振り返って話し方聞き方でよかった点・反省点、発表内容—日本語・方言について—

[illegible]